



認定こども園
松山聖ルカ幼稚園
東松山市



今回は2年後100周年を迎える『松山聖ルカ幼稚園』にお伺いしました。
インタビューにお答え下さったのは、園長 澤田忠義先生・副園長 柴本祐子先生です。

- Q:** 園の理念をお聞かせ下さい。
A: キリスト教精神に基づき、自分は愛される存在、自分が大切、まわりも大切をずっと伝え続けています。
Q: ホームページを拝見すると、和太鼓や聖劇が特色としておありになりますが、これを通して、子どもたちへはどんな願いがありますか。
A: 私共の行事はすべて遊びが原点です。その活動の中で、人と関われる喜び、自己を表現する喜びが生まれてくれたらと思っています。



副園長 柴本祐子先生 園長 澤田忠義先生



幼稚園
アルバム



山を切り開いた坂道を駆け登ると、そこが幼稚園。
元気な子どもたちを包み込む愛情があふれていました。
ご協力ありがとうございました。

- Q:** 今日保育室に保護者の方が一人いらっしゃいましたが。
A: 『1日せんせい』です。保護者の希望者が、自分の子のクラスに入り、担任補助を1日できます。園のこと、子どもたちの1日や遊び、各学年の関係、昼食などを、より知ってもらう1日です。そして何より親子の良い思い出になります。
Q: 未来へ向かう子どもたちへ一言
A: たくましい心・しなやかな心・そして自分らしく。いつでも幼稚園で待っています。

ぜんさいしよら

No.137
2024.12.15



尊いお仕事

松尾 創
全埼玉私立幼稚園連合会 会長



皆さん、こんにちは。

県下、550園の教職員の皆さんの、日々のご尽力に心から感謝を申し上げます。
幼稚園・こども園教育は、子どもたちの未来を築く基盤であり、その重要性は計り知れません。皆さんのお仕事は、子どもたちの成長と発展に大きく寄与し、直に貢献します。皆さんの役割は、単に「子どもを預かる役目」や「知識の伝達者」ではなく、「子どもたちの心を育む」大切な存在なのです。
人生のお仕事は、ときに困難な状況に直面することもあるかと思いますが、その一つ一つが子どもたちの未来を明るく照らす「一歩」になります。
皆さんの情熱と献身が、「子どもたちの笑顔と成長」に繋がっていることを忘れないでください。

全埼玉私立幼稚園連合会は、皆さんの努力と貢献を全力でサポートし、共により良い「教育環境」を築いていきたいと考えています。
みんなで「楽しく」、子どもたちの未来を育むために、力を合わせて参りましょう。

Contents

- 2 ▶ 教員養成校との連絡協議会 就職フェア
- 3 ▶ 教職員中央大会 教職員研修栃木大会
- 4 ▶ 幼稚園めぐり さいたま市での取り組み

さいたま市での取り組み

さいたま市

子育ても仕事も楽しむ保護者を 応援するさいたま市

さいたま市には、幼稚園なのに生後6か月から就園前まで、たくさんの親子が登園して賑わっている園があります。来年度「こども誰でも通園制度(仮称)」の本格実施を前に、「さいたま市幼稚園(子育て応援こどもテラス)」を試行している園です。その数は、19園、全体の2割にも及びます。さらに、国の制度にはない独自策が盛り込まれています。例えば、①幼稚園版と保育所等版がある、②幼稚園版は独自の名称と、「こどもと共に親も学びます」など7つのコンセプトに基づく、③未就園児教室を上手に生かし「親子で登園」を基本とする、④国の基準を上回る「満3歳以上も支援対象」とする、などです。これらには、さいたま市私立幼稚園協会(以下、協会)からの意見が色濃く反映されています。昨年度、市と協会とで何度も協議を行い、加盟99園へ意見を求めました。国の方針確定を受けて、参加意向と再び意見を求める丁寧なやり取りがありました。結果として、当初予定の一区一園の2倍の幼稚園が参加することになりました。来年度、更に多くの園が実施することで、子育ても仕事も楽しむ保護者を応援していきます。

慶弔

- 慶事**
11・8 教育功労賞
幼保連携型認定こども園 菖蒲幼稚園(久喜市)
四ツ釜 雅彦 理事長・園長
- 弔事**
7・11 ふじみ幼稚園(入間郡三芳町)
鈴木 周一 前理事長逝去
8・6 あさか台幼稚園(朝霞市)
鈴木 晴代 前園長逝去
9・12 谷塚幼稚園(草加市)
小倉 恵照 前理事長・園長逝去
9・21 認定こども園新郷南幼稚園(川口市)
平林 昇 理事長逝去

編集後記

表紙の色彩は「親と子」「家庭と園」「園と小学校」などに友好的『懸け橋』がかかることを願って毎月虹色にかかります。
また各園の子どもと保育者の写真を募集します。表紙の写真等で使用させていただきます。データで全埼玉事務局までお送り下さい。
たくさんの応募をお待ちいたします。



テーマ 「今日の学生の姿」「実習記録について」
「保育界を目指す若者を増やすために」

教員養成校との 連絡協議会

6月27日(木)埼玉会館にて
養成校との連絡協議会が開催さ
れました。



今年度は「今日の学生の姿」「実習記録
について」「保育界を目指す若者を増やす
ために」という3つのテーマを題材にし
たグループ討議を行った後、参加園と養
成校が自由に交流できる個別交流の時間
としました。養成校からは22校27名、
加盟園からは67園74名が参加。会場内
のいたるところで活発な議論・交流がみ
られ、非常に実りの多い会となりました。

参加者の感想

- 養成校の考えや園長先生方の様々な考えが聞けて参考になった
- 学生の就活のタイミングが分かってとてもよかった
- ご挨拶したい養成校の先生方と個別に情報共有できた



就職フェア

8月3日(土)大宮ソニックシティにて10
回目となる就職フェアが開催されました。今
年度は学生の来場しやすさを考慮して、午前
10時から午後1時までの開催でした。開催
にあたり、人材委員が養成校に出向いて一斉
メール配信やポスター掲示のお願いを行った
結果、80名近い学生が来場しました。当日
は97園の参加園がブースを構える中、熱心
に話を聞く学生の姿がありました。



参加者の感想

- 園の雰囲気や先生方の働き方を聞けたので自分が働いた時の想像ができた
- 写真や動画を見ながら園の様子を知ることが出来てよかった
- 園の特色が様々なのだと知ることができた



資料は
こちらから



インタビュー 就職フェアでの出会いをきっかけに採用につながった園に聞いてみました。

Q 就職フェアではどのように
学生に説明したのですか？

A まずは自園の良
さをたくさん伝
えて、質問には
丁寧に答えてい
きました。

Q 採用に至るまではどのような流れでした
か？

A ブースでの説明に興味をもったようで、
後日、園見学にきてくれました。詳しく
園を案内したところ、具体的に仕事を
するイメージができたようで、そのまま
自然と面接まで進んでいきました。

Q 就職フェアから採用につなげるため
に大切なことは？

A 今回はタイミングがよかった面も
あると思います。ただ、信念をもっ
て日々の保育を行い、それを分か
りやすく伝えることが大切なのか
なと感じています。

今回の連絡協議会と就職フェアを通して、幼稚園教諭の育成や採用活動は、養成校との連携やつながりが大切であることをあらためて認識することができました。連合会としても、このような活動を継続して、幼稚園・認定こども園の発展に貢献していきます。

大会テーマ 家庭・地域・園 良質な教育環境の創造を目指して
～健全な次世代の育成のため、良質な環境を創造しよう～

教職員中央大会

令和6年8月26日(月)埼玉会館大ホールに700
名を超える参加者が集い、第38回教職員中央大
会&幼児教育フォーラムが盛大に開催されました。



第1部

教職員中央大会では埼玉県知事代
理総務部長 三須康男様、埼玉県議
会議長 齋藤邦明様、さいたま市長 清水勇人様
のご臨席につき永年勤続表彰が行われました。
勤続5年291名、10年145名、15年83名の表
彰者を代表して別所幼稚園 福島美樹先生より
「これからも笑顔で元気に、日々精進していく
ことを誓います」と素敵な挨拶がありました。

第2部

幼児教育
フォーラムで
は、元サッカー日本代表
福田正博氏より「日本代
表を経験して学んだこ
と」と題して素晴らしい
ご講演をいただきました。

参加者の感想

サッカー選手と幼稚園教諭は全く異なる
職業ですが、夢を与え、子どもを笑顔に
できる場所は同じだと感じました。とて
も貴重なお話を聞くことができ
て楽しかったです！



指導者は環境を整えることや声掛け、コ
ミュニケーションをとることが必要。言
葉には力がある。言葉を大切に、楽し
くなるために笑顔をつくることを心がけ
て頑張ってください！

元サッカー日本代表 福田 正博 氏



大会テーマ 一人ひとりの「こどもがまんなか」をまもる
質の高い幼児教育を

関東地区教員研修 栃木大会

令和6年8月8日(木)・9日(金)ライトキューブ宇都宮を会場に、第37回全日本
私立幼稚園連合会関東地区教員研修 栃木大会が行われました。

1日目

★講演★玉川大学教授 大豆生田啓友先生
「子ども・保育者・保護者がワクワクする保育」

「こまったちゃん」の好きなことを見つけて保
育に活かすことが、安心感と信頼感を育みます。楽しく遊ぶ
姿が、まわりの子どもにもまねしたいという気持ちを広げ、
おたがいに育ち合っていきます。

子どものワクワクと保育者のワクワクが保護者もワクワク
させ、魅力的な園、子ども主体の保育へとつながります。ド
キュメンテーションは、子どもが見ている視線の先を写すも
ので、子どもの興味関心がわかり、遊びが発展し、保育への
共通理解が深まります。多くの事例から、保育の現場にいる
保育者がどのように子どもを見つめ、保育するかをわかりや
すく伝えていただきました。

★お笑いライブ★U字工事

栃木県出身のU字工事さんが、各参加県の特
徴を捉えた県いじりで会場の笑いを誘いました。



2日目

★埼玉県担当 第5フォーラム★
主題「幼児期の終わりまでに育って
ほしい姿をふまえた保育実践」

ゲスト	東京成徳短期大学教授 大澤洋美先生
問題提起者	一の割幼稚園 小川喜江先生 戸田ひまわり幼稚園 煙山夕音先生
コーディネーター	まことこども園 中井涼平先生

2名の先生が、子どもの3年間を通した成長
の姿、さまざまな活動、保育者や友だちとの関
わりを通して自信をつけていく姿など、事例を
もとに問題提起を行い、午後のグループ協議も
活発に行われました。

2年後は埼玉県が開催県となります。